

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公開番号】特開2011-178936(P2011-178936A)

【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2011-037

【出願番号】特願2010-46026(P2010-46026)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/02 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 63/02

C 0 8 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月3日(2012.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 9 】

合成例 9 液晶性ポリエステル (B - 2) の合成

攪拌翼、留出管を備えた 5 L の反応容器に p - ヒドロキシ安息香酸 7 5 9 . 7 g (5 . 5 モル)、4 , 4 ' - ジヒドロキシビフェニル 4 1 9 . 0 g (2 . 2 5 モル)、テレフタル酸 5 6 0 . 7 g (3 . 3 7 5 モル (4 , 4 ' - ジヒドロキシビフェニルの 1 . 5 倍モル当量))、酢酸ナトリウム 0 . 3 0 g (得られる液晶性ポリエステルの 0 . 0 2 重量 %) および無水酢酸 1 0 5 1 . 5 g (系の全フェノール性ヒドロキシ基に対して 1 . 0 3 当量) を仕込み、窒素ガス雰囲気下で攪拌しながら 1 4 5 で 2 時間反応させた後、3 9 5 まで 1 / 分で昇温した。その後、3 9 5 で 0 . 5 時間保持し、1 . 5 時間で 1 . 0 m m H g (1 3 3 P a) に減圧し、更に 6 0 分間反応を続け、トルクが 2 1 k g ・ c m に到達したところで重縮合を完了させた。次に反応容器内を 0 . 1 M P a に加圧し、直径 1 0 m m の円形吐出口を 1 個持つ口金を経由してポリマーをストランド状物に吐出し、カッターによりペレタイズした。